

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年3月19日

札幌市立厚別北中学校

評価項目	達成状況			反省及び改善に向けた取組		学校関係者評価委員会		
	生徒 (昨年度)	保護者 (昨年度)	教職員 (昨年度)			自己評価の 適切さ	改善に 向けた 取組 の適切さ	
教育目標	学校教育目標に向かって教育活動が行われている。	3.3 (3.2)	3.5 (3.3)	3 (3.1)	A	学校教育目標は、すべての生徒の個性の伸長、社会性の発展及び必要とされる資質・能力を身に付けさせるための教師の指針であることを共通理解し、引き続き地域や保護者の理解と信頼を得ながら、日々の教育実践に努める。	A	A
学校関係者評価委員の意見	十分に活動されていると評価できるので、このまま継続していただきたい。							
学習活動	分かりやすい授業が行われている。	3.1 (3)	3.1 (3.3)	3 (3.1)	B	新学習指導要領全面実施を見据え、研修部を中心とした校内研修を深めていくとともに、日常の授業実践交流を継続しながら、生徒一人一人が「学ぶこと自体を楽しい」と思える授業の質の向上を目指す。	A	A
	TT、ALTによるきめ細やかな授業が行われている。	3.3 (3.1)	3.4 (3.1)	3 (3.1)	A	今年度は数学科を中心にTTを実施した。ALTによる指導も含め、複数の教師で学習指導にあたることで、きめ細やかな学習状況の見取りや個々の生徒への支援が可能となった。今後も個に応じた指導に力を入れていく。	A	A
	総合的な学習は、目標・ねらいが明確で、充実した活動を行っている。	3.3 (3.1)	3.5 (3.3)	2.9 (3.1)	A	本校の総合的な学習の時間のテーマが、昨今の時代の要請とずれが生じてきている。来年度より全体テーマを刷新し、キャリア教育を中心とした学習活動を実践し、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な資質・能力の向上を図っていく。	A	A
	各教科の評価・評定は適切であり、学習意欲の向上につながっている。	3.1 (3.1)	3.1 (3.3)	2.9 (3.3)	B	再来年度より、各教科の観点別学習状況の評価が変わることを踏まえ、教師の共通理解を図りながら、研修を通して準備を進め、生徒・保護者への説明と理解を得ていく。評価内容を生徒の学習意欲の向上と教師の授業改善につなげていく。	A	A
学校関係者評価委員の意見	生徒一人一人にわかりやすい授業を、引き続き目指していただきたい。							
生徒指導	生徒理解のための相談活動が適切に行われている。	3.4 (3.3)	3.2 (2.9)	3 (3.3)	A	Q-Uやいじめアンケートの効果的な活用を図るため、集中的に生徒との相談活動ができるよう、年間計画の中に教育相談期間を位置付け、時間と場所の確保に努めた。今後も日常生活における生徒の様子に気を配った積極的な相談活動を充実させる。	A	A
	自ら判断し、行動できる生徒の育成を目指した生徒指導に力を入れている。	3.3 (3.4)	3.4 (3.5)	2.7 (3.1)	B	本校において大切にしている「TPO」の理念を継承していく。日頃から集団生活の向上と生徒の自主性を育むとともに、災害など非常時に的確な行動が取れたり、学校生活でのピアサポートなど「積極的TPO」の力を育てるための取組を推進する。	A	A
学校関係者評価委員の意見	相談活動に改善傾向が認められるので、このまま継続していただきたい。							
生徒活動	行事、生徒会活動等が活発であり、生徒が積極的に活動できる環境が整っている。	3.4 (3.4)	3.5 (3)	3.2 (3.5)	A	今年度、学校祭と合唱コンクールの規模を縮小したが、生徒の主体性を発揮させるなど、ねらいは達成された。生徒会活動においても運営方法を工夫するなど改善を重ねた。学校教育目標の具現化を目指し、環境の整備と的確な支援を継続する。	A	A
	学級指導などを通して望ましい集団作りが積極的に行われている。	3.4 (3.2)	3.2 (3.4)	3.1 (3.3)	A	学級・学年の様子に気を配り、より良い人間関係作りのための取組を継続する。取組を充実させることが望ましい集団づくりにつながると考え、学級活動の時間を教育課程の中に適切に配置していくなど、検討を継続する。	A	A
	部活動が活発で、効果的に行われている。	3.5 (3.5)	3.5 (3.4)	3.4 (3.7)	A	部活動自体が過度な負担とならないよう留意し、全市的な活動指針に準じた形で実施に努める。生徒の心身の成長につながる部活動の運営を、発達段階に応じて、学習や学校生活・日常生活とのバランスや休養に配慮しながら推進する。	A	A
学校関係者評価委員の意見	活発な生徒活動が認められるので、この取組を継続していただきたい。							

評価項目	達成状況				反省及び改善に向けた取組	学校関係者評価委員会		
	生徒 (昨年度)	保護者 (昨年度)	教職員 (昨年度)			自己評価の適切さ	改善に向けた取り組みの適切さ	
開かれた学校	学校の教育情報は適切に発信され、内容も理解されている。	2.6 (2.5)	3.2 (3.6)	3.1 (3.1)	A	「1学年1学級」の考えのもと、今年度は学級だよりの発行回数を削減した。その分、学年だよりや学校だよりの内容を充実させることで、情報を適切に発信するように努めた。引き続き、地域・保護者との連携に役立つ情報の発信を心がける。	A	A
	授業参観等、生徒の活動を見る機会が適切に設定されている。	3.1 (2.9)	3.4 (3.6)	3.3 (3.3)	A	年間行事計画を立案する中で、より多くの保護者が学校に来ることができるよう、多様な企画や柔軟な体制を企画・調整する。学校行事、道徳を含む教科の授業公開については、小中の連携も踏まえながら、より積極的に推進していく。	A	A
学校関係者評価委員の意見	今後も分かりやすい情報発信に努め、広く連携・対応を行ってほしい。							
防災・安全・快適な学校	緊急事態に対する計画や対策が十分に整っている。	3.2 (3)	3.4 (3.1)	2.7 (2.8)	B	地域・保護者との連携を重視し、安全に対する啓発活動と自己防衛力のさらなる強化を図るための防災教育を組織的に行う。「保護者メールシステム」の登録者は増加しているため、効果的な運用を図るとともに、登録者数を100%に近づけていく。	A	A
	校内の個人情報適切に保護されている。	3.6 (3.5)	3.5 (3.2)	2.8 (3.2)	A	個人情報保護法に基づく取組を継続し、教育公務員としての守秘義務を徹底する。また、個人情報保護に関する再確認を行うとともに、情報セキュリティ研修への参加を働きかけるなど、教職員の資質向上に努める。	A	A
	校舎設備が、適切に活用されるよう、十分に整備が行われている。	3.1 (3.3)	3.4 (3.5)	3.2 (3.3)	A	本校特有の施設設備である大ホール等を、学校行事や生徒の活動に積極的に生かすとともに、校地内の美化と施設設備の保全、早期修繕に心がける。生徒を主体とした清掃美化活動を充実させ、清潔で美しい校舎設備の更なる有効活用を目指す。	A	A
学校関係者評価委員の意見	情報管理を含め、確実な連絡方法の充実を図ってほしい。							
地域・PTA	保護者の協力により、PTA活動が活発に行われている。	3.4 (3.4)	3.3 (3.3)	3.1 (3.1)	A	学校教育活動を支えてくださる多くの保護者、並びに地域の方々への感謝するとともに、これまで以上に参加しやすい組織や活動方法を検討する。来年度よりPTA専門部の組織を変更し、負担軽減を図りながらも充実した活動を目指す。	A	A
	地域や保護者の意見が学校運営に反映されている。	/	3.2 (3.2)	3 (3.2)	A	地域や保護者との連携により学校が支えられていることを念頭に置き、学校評価アンケートを始め、懇談会や学年・学級PTA集会等で寄せられた意見・要望を真摯に受け止め、引き続き、本校の教育活動の改善に取り組む。	A	A
学校関係者評価委員の意見	PTAに地域を加えたPTCA活動による柔軟な関係性を望みます。							

※「達成状況」欄の教職員の評価結果 (A 十分に適切 B ほぼ適切 C やや不適切 D 不適切)

※学校関係者評価委員会の評価結果 (A 十分に適切 B ほぼ適切 C やや不適切 D 不適切)

※達成状況につきましては、(4 そう思う 3 ややそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない) の平均の数値を示しています。

※学校評価アンケートの質問文につきましては、各項目の達成状況をより正確に反映させるため、文言を整理し、文章表現を大幅に改定しました。

令和2年2月26日

学校関係者評価委員会